

令和8年度（2026年度）まちづくり協働推進事業二次審査会記録

1 日 時 令和8年（2026年）9月8日（火）

午後2時から午後5時まで

2 場 所 東海市芸術劇場 2階会議室

3 出席者 日本福祉大学 名誉教授

千頭 聡

Nagoya コミュニティ研究所 代表

水野 真由美

特定非営利活動法人ボランタリーネイパーズ 研究員

齋藤 雅治

総務部長

植松 幹景

市民福祉部長

濱田 眞理子

教育部長

橘 洋子

4 事務局出席者

市民協働課 課長

仙敷 元

〃 統括主任

浅井 貴史

〃 主任

山田 浩策

〃 主事

阿知波 遼

5 事業担当課出席者

市民協働課のため、事務局と同じ

6 公開・非公開の別

一部非公開

7 傍聴者数

0人

8 審査会

(1) 開会あいさつ

(2) 審査員紹介

(3) 二次審査

ア 審査方法

事務局より説明

イ 質疑（非公開）

ウ 集計・審査員協議（非公開）

審査結果発表

ア 審査結果

（ア）男女共同参画啓発事業

採択：特定非営利活動法人 SmileyDream

（イ）女性の活躍支援講座等開催事業

採択：特定非営利活動法人 SmileyDream

イ 講評

（ア）男女共同参画啓発事業

（特定非営利活動法人 SmileyDream）

- ・コラムについて、分けて掲載する等、読み易くする工夫があるのは良い。
- ・時代も変わっていくため、本事業をどのように組み立てていくか、担当課と一緒に３年間検討していただきたい。
- ・各年度の事業対象者をどのように設定するのかを詰めていただきたい。
- ・ノウハウや経験を活かし、独創性・先見性のある事業にしていきたい。
- ・テーマが多岐に渡っており、市役所の他の部署とも連携があると良い。

（イ）女性の活躍支援講座等開催事業

（特定非営利活動法人 SmileyDream）

- ・育休復帰の形は様々であり、例えばフルタイム勤務以外の復帰を望んでいる方もいると思われるため、多様であるということにも配慮していただきたい。
- ・育休復帰のネックとなる部分は様々であり、現在、制度はある程度整備されてきているものの、職場では人事部門ではなく現場や家庭における課題点もあるということを踏まえた講座にしていきたい。
- ・大手企業より、中小企業を主な対象に設定した方が良い。
- ・それぞれの事業の対象者、どういうことを届けたいのか、どのようにアプローチするのかを明確にできると良い。
- ・講座において市に期待する部分を明確にするとともに、この講座を通じて対象者に何を届けたいのかも検討したうえで実施してほしい。

その他（非公開）

閉会あいさつ